



8月25日(木)の夜、中央公民館にて坂祝町の子育て環境整備を考えるワークショップ「つどい場 ツクリバ」の第3回を開催しました。出席者は町民、事務局合わせて21名でした。

この日は、高橋教育長からのあいさつ、そしてツクリバの第1回と第2回のふりかえりをしたあと、4つのグループに分かれ、「坂祝町の子育て支援拠点はどこにあるべきなのか？」枝葉でなく、「幹」となるコンセプトについて意見を出し合い、「大切にしたい3つのキーワード」を決めて発表、全体共有しました。拠点施設づくりの根幹となるコンセプトについてじっくり話し合うことができた今回は、グループの枠を越えみんなが大切にしたいものが、少し見えてきましたね！

3

拠点施設で大切にしたいことは？

2016/08/25 (木) 19:00~21:00 坂祝町中央公民館 2階 研修室

1. あいさつ
2. 前回までのおさらい
3. グループワーク
「拠点施設で大切にしたいことは？」
4. 発表&共有
5. ふりかえり

1 あいさつ



高橋教育長

今日の午後は、民生委員のみなさんを対象にしたワークショップを行いました。

委員の方々の活気に圧倒されながら、楽しい時間を過ごすことができました。

今からまたワークショップを行います、人とのコミュニケーションが大事なのかなと思います。今夜もよろしくお祈りします！

2

グループワーク～発表&共有

「拠点施設で大切にしたいことは？～大切にしたいキーワードベスト3」



拠点施設で大切にしたい
3つのキーワード

- ★ 15才(中学生)までの子どもが使える施設
- ★ 多世代、多文化の交流がある場
- ★ 目的がなくても気軽にに行ける場

ウラ あるものを見直し 最大限にいかす

私たちのグループでは「自然が多い」、「フリースペースをたくさん取る」、「誰でも行ける場所」(多世代多文化、目的がなくても行ける)という意見が出ました。この「誰でも行ける場」をつくるために、どういった施設、プログラム、気持ちがあればいいのかという話をしました。その他には「歩いて行ける」、「家庭でできない体験ができる」、「子どもの成長発達を促す場」、「住民が自分たちの場所なんだという意識を持ってやっていこう」という意見もありました。また、スタッフを含めたくさんの目があって、支援を求めて立ち寄った「お母さんがほっとできる場に」という意見がありました。

キーワードの1つめの「15歳までの子どもが使える施設」は、坂祝は高校がないので町外で集うことが多いねということで 15歳までが中心に使える施設としました。

また裏面の「あるものを見直し最大限にいかす」は、子どものために作る施設が、のちのち借金になってしまわないように、あるものを活かせるなら活用して施設運営をしていきたいという意見でした。



B

拠点施設で大切にしたい
3つのキーワード

坂祝町

★ 子育てを中心とした
多世代交流
★ 相談できる場所

ウラ
坂祝色
～さがほしく～



なかなか話がまとまらず苦労しました。「多世代交流とはなんぞや？」で話がヒートアップしました。いろんな世代が集うのは難しいのではという意見も出た中で、「子育てを中心とした多世代交流」をキーワードとしました。子育てを取り巻く親子どうしや、子育てを支えるお年寄りとの交流、異年齢の子どもどうしの交流も含めて「多世代交流」としています。

2つめのキーワードは、みんなが人を求めているということで「相談できる場所」としました。また裏面は「坂祝色」ということで、坂祝らしさや個性が出せるといいかなと思いました。

その他「何度でも行きたくなる」「コミュニケーションできる」、「安心安全で楽しめる」、「ほっとできる」、「親子で利用できる」、「アンブレラの充実」などの意見が幅広く出ました。

C



「三世代、誰でも使える場所」という意見が多かったです。また、つくんこの充実とともに、つくんこの施設を他の子達も使えるように垣根をなくせたらいいという意見がありました。

「自然が感じられる」、「災害に強い」、「100年200年後も長く続けられるような施設、体制」という意見もありました。

キーワードの「家庭がある！家族がある！」についても、たくさん話し合いました。子どもたちを見てくれる「おじいちゃんおばあちゃんも集う」、「よその子も家族と感じられるような施設」だといひよね、という話をしました。わたしとしては、メインは子どもで、おじいちゃんおばあちゃんはスタッフとして来てもらえるといいなと思いました。

拠点施設で大切にしたい
3つのキーワード 中国

★ 家庭がある!! 家族がある!!

★ 自然が肌で感じられる

★ 共につながる・成長する!!

ウラ

♥ スタッフ 60代・70代・80代……
大かげい!!

♥ 本を読む習慣がある子が育つ!!

D

拠点施設で大切にしたい
3つのキーワード

国分町

★ 未満児から高校生までが中心
(0才～18才)

★ 自然(動物・虫・緑・水)と動物

★ 気軽に集える場所、あふれがちな場所

ウラ

④ お金ありき中途半端はセキナ
岐阜市伊勢ヶ崎地区の児童館

⑤ だいたい広がり不要!
森の国、アトリエ、パーク、etc...



話の中心は「多世代のつながりを」ということでした。また「気軽に集える、つい行きたくなる場所」、「自然を生かし、開放感のある自然とふれあえる場に」という意見のほか、「美味しいものが食べられて、地産地消と労働の確保」につながればいいという意見もありました。

場所については、「小学校の近くに」という意見と、今後坂祝の中心は黒岩になると思うし広い方がいいんじゃないかという意見で二分しました。

キーワード1つめは、中高生の居場所をとということ、義務教育は高校生までだということで、「未満児から高校生までが中心」とした一方で、予算が限られた中で、「もっと年齢を限定したほうがいいのでは」という意見もありました。



ひとことアンケートより

大切にしたいものが見えてきた。思いが重なっていく気がしました／3つに絞るって難しい！って思いましたが、フタを開けてみたら皆同じような思いを持っていた！／相反する、どちらもなるほどと思う意見があり、考えることができた／「多世代交流」。この一言でとても深い話し合いができた／深く長い目で考え、今あるものを大切にしながら、新しいものを作らなくてはいけない／まず予算がどのくらいか、ある程度分かると良い ほか

坂祝町教育委員会 こども課

電話：0574-26-7151

F A X：0574-26-7097

E-mail：kodomo@town.sakahogi.gifu.jp

